

## 入院対応支援プロジェクト

近年、当院では予約入院より即日入院の割合が増えています。即日入院は、入院のタイミングが予測できないことにより、計画的に行っていた業務の中断や予定の変更を余儀なくされ、勤務終了時間が遅くなるなど病棟看護師の負担となっています。さらに医療事故のリスクを高めることも考えられます。また、一方では、入院予定の患者さんを病棟の受け入れ体制が整うまで、外来で長時間お待たせすることも多くなっていました。そこで、看護部では、これらの状況を改善し看護の質の向上を図るため、入院対応支援の体制を整えることにしました。

入院対応支援プロジェクトを平成 28 年 3 月に立ち上げ、入院対応支援に関する運用手順を作成し、育児休暇明けの看護師を入院対応支援看護師として、4 月から対応をはじめました。入院対応支援看護師 3 名が、それぞれ 1 日 2~3 名の予約入院・即日入院患者の対応を行い、5 月までの対応件数は 140 件となりました。

入院対応支援看護師を導入して 3 ヶ月目の 6 月には、病棟看護師・入院対応支援看護師へ向けてアンケート調査を実施し、現在、改善点を検討しています。運用手順を修正しながら、さらに安定した支援システムにしていきたいと考えています。

